



令和5年12月号 会報

一般社団法人

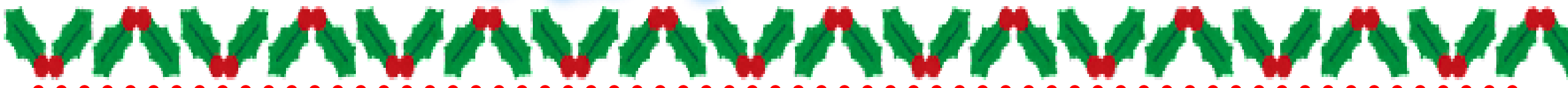
久留米三井薬剤師会

Kurume Mii Pharmaceutical Association

〒830-0018福岡県久留米市通町6-4

TEL : 0942-36-7790

FAX : 0942-36-7791



会務報告

令和5年

- 11月 9日(木)令和5年度福岡県薬物乱用防止講習会講師団講師研修会 (県主催)
於 吉塚合同庁舎 満安出席
- 9日(木)令和5年度第3回久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会
於 久留米市役所 杉本 奈 出席
- 10日(金)令和5年度第2回久留米区域地域医療構想調整会議 於 久留米市役所 白木出席
- 10日(金)Cブロック懇親会 於 丸秀鮮魚店 久留米店
- 11日(土)健康フェア買い出し 於 薬剤師会館 水久保・大川・龍
- 11日(土)情報リテラシーを高める研修会(県薬主催) 於 県薬開会+WEB研修
- 16日(木)三師会役員懇談会 於 萃香園ホテル 白木他20名出席
- 17日(金)令和5年度小郡市地域包括支援センター運営協議会 於 小郡市役所 荒津出席
- 20日(月)第3回在宅介護委員会 於 薬剤師会館 白木他14名出席
- 22日(水)健康フェア荷物搬入 於 久留米シティプラザ 今村他12名出席
- 23日(木・祝)おくすり健康フェアinくるめ2023 於 久留米シティプラザ
- 24日(金)第3回久留米大学病院がん薬物療法地域連携研修会 於 WEB会議
- 24日(金)第1回糖尿病COMワーキング 於 薬剤師会館 木原他7名出席
- 26日(日)Dr.ブンブン 於 久留米シティプラザ 園田・水久保・石川・北御門出席
- 27日(月)がんサポート研修会・Develop Seminar 合同リハーサル
於 薬剤師会館 杉岡他6名出席
- 29日(水)第2回医療保険委員会 於 薬剤師会館 白木
- 12月 1日(金)ケア会議スキルアップ研修会ワーキング 於 薬剤師会館 高橋・木原・川本・龍出席
- 2日(土)久留米三井薬剤師会拡大委員会 於 アメニータ 33名参加
- 3日(日)令和5年度医療機器販売業等営業所管理者、医療機器修理業責任技術者に対する研修
於 WEB研修
- 4日(月)第35回Develop Seminar 於 WEB研修
- 5日(火)令和5年度第4回久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会
於 久留米市役所 杉本奈出席
- 6日(水)小郡市介護予防講座 於 のぞみが丘校区コミュニティセンター 講師:荒津
- 6日(水)第7回がんサポート研修会 於 薬剤師会館+WEB研修104名受講
- 8日(金)レセプト 於 薬剤師会館
- 8日(金)保険薬局部会運営委員会 於 薬剤師会館 白木他5名出席
- 9日(土)聖マリア病院開設七十周年、聖マリア学院看護教育五十周年式典
於 ヒルトン福岡シーホーク 今村・山口・樋口出席
- 9日(土)腎臓病薬物療法セミナー(県薬主催) 於 県薬会館+WEB研修
- 10日(日)薬局薬剤師と病院薬剤師の合同ワークショップ(県薬主催) 於 県薬会館
- 11日(月)第1回総務委員会
- 13日(水)理事会 於 薬剤師会館 白木他20名出席

10月18日理事会

①協議事項

- ・令和5年度「フレイル予防啓発イベント」の共催について
- ・第27回久留米つつじマーチ後援・協賛依頼について
- ・2024年度福岡県薬剤師会薬剤師賠償保険料について
- ・久留米市出初式について
- ・次世代の薬剤師・薬局機能向上に向けた研修会～いま、取り組むべきこと～開催へに出席依頼
- ・福岡県北筑後保健所運営協議会地域救急医療部会委員の推薦の件
任期期間:令和5年12月25日～令和7年12月24日 委員会開催:年2回程度実施
- ・久留米市自殺対策計画における取組の紹介についての執筆依頼
- ・「伝えたいあなたに」冊子配布についての依頼の件(依頼状有り) 依頼者:久留米手話の会
- ・各委員会について 薬学教育委員会・委員2名の追加申請
- ・今後の委員会担当者について
- ・久留米大学病院院外処方せん案内ENIファーマシー導入の件について
- ・久留米大学病院院外処方せん案内職員について
- ・第52回定時総会について

②会務報告 ③各委員会報告 ④連絡事項 ⑤今後の予定

予 定

令和6年

1月 9日(火)レセプト

於 薬剤師会館 13:30

19日(金)第213回福岡県筑後地区薬剤師研修会

於 久留米シティプラザ 18:50

【編集後記】

子供のころは、1年がとても長く感じていたのに、今では、1年がとても早く感じてしまいます。この時期になると、大掃除やら正月の準備を進めているかたも少なくないと思います。

漢方薬局では年末が近づくと、お屠蘇の原料である屠蘇散をつくることがあります。漢方薬局の屠蘇散は生薬メーカーの原料を使うので、香りが強く、気(エネルギー)が飛んでいないのを実感する事ができると思います。

さて、屠蘇散の「蘇」は悪魔や悪鬼などの悪いもの、「屠」は屠る(ほふる)ことを意味し「屠蘇」は悪いものを追い出す意味があり、大昔の「屠蘇散」の処方、トリカブトの根である烏頭(うず)、生薬の下剤(瀉下薬)である大黄など作用の強い生薬が入っていました。すなわち、邪気を追い出すという目的の、気合いの入った処方です。

時代の変化とともに、処方構成生薬も見直され、全体的に、芳香性のある生薬、健胃作用のある生薬が多く、香りで邪気を祓い、からだ全体と消化器系を温め、脾胃(消化器系)の働きを助け、気を巡らせ、寒気から始まるカゼの予防にも効果的な生薬が配合されていることが多いですが、地域や製造主によってアレンジされており、調合はさまざまです。

私の家系では、先祖が鹿児島だった為か、お屠蘇を甘く味付けする風習があり、普通は甘味を出すには清酒+みりんを使う事が多いと思いますが、みりんではなく半日かけて溶ける量のザラメを入れます。皆さんも、ご自身で作ったお屠蘇飲んで、邪気払いと一年間の無病息災を祈ってみてはいかがでしょうか？

(M.K)

